

第1条 (名称)

本会は、『東京心エコー図研究会』と称する。

第2条 (目的)

本研究会は、心エコー法による診断および治療の発展に貢献することを目的とする。

第3条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 年2回の研究発表のための研究会を行う。
2. その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

第4条 (会員)

本会の会員は、本会の趣旨に賛同する医師及び検査技師、その他の医療従事者によって構成される。会員は、世話人会に当番世話人の推薦を行なうことができる。

第5条 (役員)

本会には、次の役員を置く。

世話人：10名以内（世話人は会員の中から選出される）。

代表世話人：世話人の中から選出され、本会の責任者とする。

当番世話人：会員の中から1名選出される。

会計：代表世話人が世話人の中から1名指名する。

監査：代表世話人が世話人の中から1名指名する。

第6条 (役員の仕事)

本会の役員は次の職務を行う。

1. 代表世話人は世話人会を組織する。
2. 当番世話人は当番回の会運営（一般演題の募集・選定、特別講演の演者選定、座長、開催日時決定）を行う。当番世話人の任期は、当番会が終了までとする。
3. 世話人会は会員の推薦を受けて、新会員を選出する。
4. 世話人会は、会員の推薦を受けて、当番世話人を選出する。

5. 世話人会は、この会則に定める事項のほか本会の維持と運営に関する重要事項を審議する

第7条 （会則改定）

本会則は世話人会の協議により、適宜改正できるものとする。

第8条 （役員会）

世話人会は本会の議決機関である。

第9条 （会費及び会計）

本会の経費は会費・その他の収入を以て当てる。

1. 会費：会員は年 2000 円の会費を支払う。
2. 研究会の参加費 会員 無料
会員以外 研究会ごとに 500 円

2. 会費の変更は世話人会の承認を受ける。

会計年度は4月1日から翌年3月末までとし、翌年度初回世話人会にて会計報告を行う。

第10条 （任期）

代表世話人、運営委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

第11条 （役員資格の喪失）

役員は以下のいずれかに該当する場合には世話人会の過半数の議決により資格を喪失する。

1. 心身の障害の為、職務の執行に耐えないと認められた場合。
2. 特別の理由無く、世話人会を4回以上継続して欠席した場合。
3. 本人により辞退の申し出があった場合。
4. 東京心エコー図研究会の名誉を著しく毀損したり、東京心エコー図研究会の目的に反する行為をしたときなど世話人会がふさわしくないと判断した時、代表世話人が提言し、世話人会で過半数の賛成があった場合に、除名できる。

第12条 （事務局）

本会の事務局は、以下に置く。

旧榊原記念病院

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-4

電話：03-3375-3111

第13条 （付則）

本会則は平成18年11月25日より改訂し、施行する。

本会則は平成20年5月17日より改訂し、施行する。

本会則は平成21年5月30日より改訂し、施行する。

本会則は平成22年4月1日より改訂し、施行する。

本会則は平成27年5月30日より改訂、施行する。

実際の運用

今後も研究会を続けるために、新たなスポンサーを探さすことになった。

そこで、改革提案された内容が以下の通りです。

1. 世話人が多いことが問題視された：スポンサーが世話人に連絡することが負担になる。50人以上に手渡しや郵便できちんと連絡しなくてはならない。場合によっては連絡が取れない先生もいる
2. スポンサーにある程度話が通りやすい先生に世話人に加わってもらう
3. 会費を値上げしたい。しかし、技師に対する値上げは避けたい。

以上を踏まえて、今までの世話人には、会員になっていただき、今まで通り、新しい会員推薦や当番世話人の推薦を行なっていただきたい。会費2000円/年をお支払いいただきたい。会員の中から、共催をとりやすい世話人を選出したい。自薦、他薦問わず。

今までの運営委員には、そのまま新しい世話人となっていただき、会の継続に努力していただきたい。また、今の世話人の中で、新しい世話人として会の継続のためにご尽力いただける方は、自薦いただきたい。旧運営委員会で、会員以外の中から、世話人となっていただき（会員となった上で）、尽力いただける方を推薦したい。

慶應義塾大学 林田健太郎先生

心臓血管研究所 山下武志先生

東京大学 絹川 弘一郎先生

今までの運営委員 竹中 克、鈴木真事、澤田 準、石光敏行、石塚尚子、赤石 誠

世話人に移行。羽田先生は代表のままとする。合計10名だが、退任希望の方がいれば、受ける。

来年の5月の会は、ファイザー/ブリistolが共催を申し出ている

第一三共、武田薬品が前向きなので、来年の秋以降は、この2社となる。そのあとは、大塚製薬、エーザイなど、ある程度形を作ってしまうと、世話人会で2年後くらいの共催を探しながら継続していくことが可能である。